

書家・沢村澄子が2014～2016年にわたり制作した柳嶋妙見山法性寺の襖28本を8年ぶりに公開します。「法華経」「折伏逆化」「慈悲」「智慧」「いろは歌」などが書かれた襖のほか、2024年に制作された掛け軸や屏風なども同時発表します。

2024年12月7日(土)－11日(水)

時間 9:00－16:00

会場 柳嶋妙見山法性寺

主催 墨田区で、書と空間の力を考えるゾ！実行委員会

後援 墨田区

入場無料

問合せ info@soluna-p.com / 080-3325-1393(澤村)

沢村澄子の書

柳嶋妙見山 法性寺 襖二十八本公開





2014年、黒々とした「いろは歌」の前に座ったある女性が「辛いことがあった時、この前に座りたい」と言った。それを聞いていた横の男性が「オレは（この襖に）怒られてる気がしてイヤだなあ…」と少し笑った。

みな自由にみて、自由に感じ、自由に想像する。わたしもまた自由に書いた。そして、それを大きく喜んでくださるであろう、ミホトケのココロ。

一つ襖を開ければ一つ世界が開け、開けた途端、その向こうの人と眼が合ったりする。けれど、向こうに広がる未知なる世界はただその一瞬にあるばかりで、すぐに閉じたかと思えば、またどんどん姿を変えてゆく。

自らの手でその襖を開け、書とあなた、人々が創造する世界の不思議へ歩を進めてください。どんな疑問、どんな驚きが起こるでしょうか。書や空間は、どんな力を持っていますか。（沢村澄子）



沢村澄子 SAWAMURA Sumiko

1962年大阪生まれ。新潟大学教育学部特設書道科在学中から個展を中心とした作品発表を開始。120回を超える。書を「書くこと」と定義。「描かない」という姿勢で自作と絵画を分別。人を含めた場との関り、空間に興味を持ち、野外インスタレーションへも展示を拡大。岩手県美術選奨('02)、宮沢賢治賞奨励賞('19)、文化庁芸術選奨美術部門文部科学大臣賞('23)、手島右卿賞('24)ほか受賞。東急歌舞伎町タワー BELLUSTAR TOKYO, A Pan Pacific Hotelに40点が収蔵される('23)。近年の展覧会として、「沢村澄子 時の花」すみだ北斎美術館MARUGEN100('21)、「宮沢賢治—沢村澄子 現象的書展」宮沢賢治イーハートブ館('22)、「書のよるこび 沢村澄子展」石神の丘美術館('23)、「沢村澄子展 宙と書と」みつけ市民ギャラリー('24)など。墨田区ではギャラリーアピアントにて個展、グループ展で発表('12~)。

柳嶋妙見山法性寺

〒130-0002 東京都墨田区業平5-7-7 電話 03-3625-3838



- 鉄道**
- 京成・都営浅草線「押上」駅出口から徒歩8分
 - 半蔵門線「押上」駅 B1出口から徒歩6分
- バス**
- 都営バス「亀戸」駅【7番】
豊海水産埠頭行き3つ目の停留所「柳島」下車 徒歩2分
 - 墨田区循環バス「すみだ百景 すみまろくん・すみりんちゃん」
南部ルート「柳嶋妙見山法性寺入口」下車徒歩3分
- お車**
- 十間橋交差点が目標となります。



沢村澄子
ウェブサイト



ひと、つながる。
墨田区



すみゆめ
ネットワーク企画